

Weekly Report MAEBASHI SOUTH

2022～2023年度 R I テーマ : イマジン ロータリー

令和 4 年10月23日(日)

第 1 7 2 5 回例会報告

国際ロータリー2840地区 2022-2023年度 地区大会

太田市民会館 於

オープニング

- ・開会宣言 代表地区幹事 柳田 秀男
- ・点鐘 ガバナー 中野 正美
- ・国家斉唱・ロータリーソング静聴
- ・物故会員追悼
- ・歓迎挨拶 地区大会実行委員長 長谷川嘉宣
- ・RI会長代理紹介及び来賓・他地区訪問者・地区役員紹介
- ・ガバナー挨拶 ガバナー 中野 正美
- ・来賓祝辞 群馬県知事 山本 一太様
太田市長 清水 聖義様
- ・RI会長代理現況報告・講話 RI会長代理 橋岡久太郎様

大会委員会報告

- ・ガバナー報告 ガバナー 中野 正美
- ・資格審査委員会報告 委員長 生方 彰
- ・登録委員会報告 委員長 田中 久夫
- ・ガバナー指名委員会報告 委員長 宮内 敦夫
- ・前年度決算報告 前年度地区会計長 西巻 忠彦
- ・監査報告 前年度地区会計監査人 桂川 修一
- ・承認 直前ガバナー 足立 進
- ・大会決議委員会報告 委員長 森田 高史
- ・大会決議案審議・採択 ガバナー 中野 正美
- ・各種表彰・記念品贈呈
- ・2021-2022年度ロータリー賞表彰 RI会長代理 橋岡久太郎様
- ・2021-2022年度クラブ表彰 直前ガバナー 足立 進
- ・ガバナー方針 ガバナー 中野 正美
- ・講演者紹介 ガバナー 中野 正美
- ・基調講演 参議院議員 丸川 珠代先生
「脱炭素社会の構築に向けて」
- ・謝辞・記念品贈呈 ガバナー 中野 正美
- ・参加クラブ紹介 各ガバナー補佐
- ・記念事業発表 ガバナー 中野 正美

ロータリーファミリー活動報告

- ・青少年交換委員会 委員長 吉井 宏文
- ・インターアクト委員会 委員長 山本 樹
- ・ローターアクト委員会 委員長 堤 謙治
- ・RYLA・学友委員会 委員長 池田 貴明
- ・米山記念奨学委員会 委員長 高沢 克治
- ・保坂充勇ガバナーエレクト紹介 ガバナー 中野 正美
- ・森 末廣ガバナーノミニエ紹介 ガバナー 中野 正美
- ・講評 RI会長代理 橋岡久太郎様
- ・謝辞 ガバナー 中野 正美
- ・次年度開催地挨拶 沼田ロータリークラブ会長 桑原 滋
- ・閉会の辞 地区大会副実行委員長 岡田 和夫
- ・点鐘 ガバナー 中野 正美



RI会長代理現況報告・講話

橋岡久太郎 RI会長代理



国際ロータリー第2840地区の地区大会開催を心よりお慶び申し上げます。

地区ガバナーのリクエストにより、今年度の国際ロータリー ジェニファーE. ジョーンズ会長より

RI会長代理を拝命いたし参りました。

2022-23年度RIジェニファー会長のテーマは、「Imagine Rotary」（イマジンロータリー）です。テーマロゴには私達が手を携え、戦争や感染症等未曾有の困難な課題を乗り越えて、7つの重点分野におけるロータリーの成功を想像し、世界の平和と安全を推進するという願いが込められています。

第2840地区45クラブ2054名の会員の皆様と共に手を取り合い、変革を恐れず、DEI(多様性・公平さ・優しく受け入れる)を推進し、クラブと地区のさらなる発展を想像し、地域社会と国際社会におけるインパクトのある奉仕活動を推進します。

それを受けて、中野正美ガバナーは「みんなのロータリー、みんなでロータリー、さあ！奉仕に出かけよう」を地区スローガンに挙げられ「ロータリークラブは何故 創造されたのでしょうか？」と最も大切にしてロータリーの原点とも言える問いかけをされ、Serve「仕える。尽くす。隣人・他者のために仕事をする。奉仕する」を基に5つの中核的価値観（親睦・高潔性・多様性・奉仕・リーダーシップ）を中心として活動されると宣言されました。地区運営のトップリーダーとして、実行力のある輝く年度にされると確信しております。

言行はこれに照らしてから

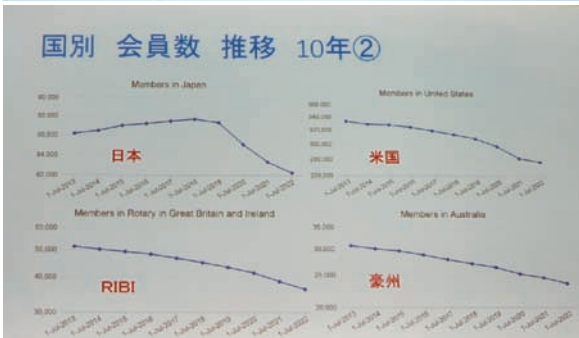
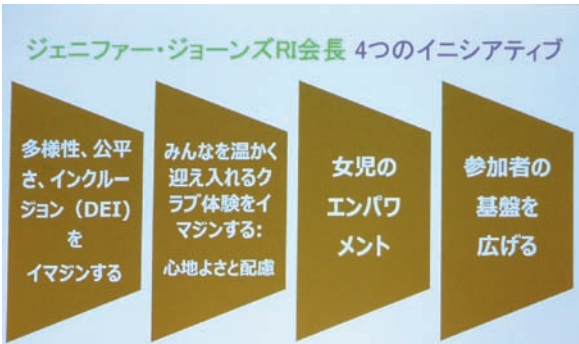
1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場：前橋商工会議所 〒371-0017 前橋市日吉町1-8-1
TEL：027(232)9228 FAX：027(289)5584
E-mail：maebashi-minami@rid2840.jp

例会日：水曜日 12:10～13:10

会長：田嶋宏樹 / 幹事：古澤泰明 / 会報委員長：山岸直樹

R I 会長代理は、R I 会長の目指すことや世界でのロータリークラブ会員数の動向や会員が退会しないようにするには等々、分かりやすく話されました。



調査によって繰り返し分かっていることは、**会員にとっての「心地よさ」と「配慮」が会員の満足度を高める唯一かつ最大の方法であり、クラブへの会員の積極的参加を保つ最善のツールです。**
快適さが増せば、会員としての満足度が上がる確率も高くなります。

実際、ほかの会員と打ち解けていると感じられない人は、そう感じている人に比べて、2~4倍もの確率で退会しています。

○基調講演

丸川 珠代 参議院議員

「脱炭素社会の構築に向けて」



○ガバナー方針

中野 正美ガバナー

当地区のスローガンを「みんなのロータリー、みんなでロータリー、さあ！奉仕に出かけよう」といたしました。『ロータリーの中核的価値観』『ロータリーの目的』『四つのテスト』を基本に、R I テーマ、地区スローガンを実践して奉仕活動をしていきたいと思っております。DEI、多様性・公平さ・インクルージョンへのロータリーのコミットメントも更に推進します。



RID2840 第3期戦略計画 (2020-2023年)

ビジョン (希望に満ちた何未像) : 「地域社会とともに生きる元気で魅力あるクラブを実現する」

私たちは、世界的ネットワークである国際ロータリーの一員として、世界的課題の解決と世界平和への貢献とともに、地域社会に根ざした課題解決に役立つ奉仕(Service)を実践する、元気で魅力あるクラブを実現します。

クラブの戦略計画の実践 クラブは、自らが策定した戦略計画に基づいて行動しよう。クラブは、毎年戦略会議を開催しその成果を確認しよう。

ロータリーの5つの中核的価値観 (奉仕・親睦・多様性・高潔性・リーダーシップ) を自らの生き方として体得し、行動しよう。

会員組織の強化は、クラブの会員組織強化計画に基づき仲間を増やしロータリーを楽しもう。女性会員10%を達成しよう。

ロータリーの学習と知恵の共有は、地区やクラブが実施する地区行事・各種セミナーに積極的に参加し、ロータリーの理念や歴史、奉仕の実践事例を学び、知恵と情報の共有をしよう。

財団補助金の活用は、すべてのクラブは毎年度地区補助金事業を実践しよう。すべての分区はグローバル補助金事業を申請するクラブを出そう。

寄付の充実は、ロータリアンは奉仕活動の資金として寄付に協力しよう。

公共イメージの向上は、ロータリアンは社会のリーダーとして地域と共に良いことを広め、ロータリーの魅力を知らせよう。

